

ニュースレター

2015年6月

会員の皆様へ

一般社団法人 日本看護研究学会
九州・沖縄地方会会長 藤田 君支

会員の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。平成26年11月8日に開催された一般社団法人 日本看護研究学会九州・沖縄地方会総会で会長に承認され、今年度より新役員の方々と活動することになりました。三年間どうぞよろしく願いいたします。

看護系大学や大学院の増加に伴って、看護系学会も増加しています。本学会は長い歴史を持ちますが、一般社団法人日本看護系学会協議会の会員学会は40以上と増えた今、本地方会の役割も吟味する必要性を感じます。現在の主な活動は年1回の地方会主催の学術集会と講演会の開催、総会の開催、ニュースレターの発行、本会との連絡提携などです。本地方会の設立目的は本学会の地方組織として、九州・沖縄地区に於いて、「看護学の研究と教育並びに実践の進歩発展に寄与する」ことで、細分化された専門領域でなく広く若手研究者の育成に力を入れていることが特徴です。本地方会活動は運営資金が少なく、これまで諸先輩方の多大なる努力と善意で継承され、特に学術集會長の先生にはご苦勞をおかけしてきました。学会が多数存在する中で、看護の総合学会として若手研究者の育成に力を発揮してきた成果を踏まえ、本地方会の今後の活動を会員の皆様と検討していきたいと考えておりますので、看護の将来を支えていく提案をお寄せいただければ幸いです。

さて、本学会の学術誌も今年度から完全なオンラインジャーナルとなりますが、最近インターネットの発達で、国内外の研究論文が手軽に入手できるようになりました。今年参加した東アジア国際看護学会で看護のグローバル化を促進するツールとして、ORCID (Open Researcher and Contributor ID) の活用が紹介されていました。これは、様々な分野の研究者を個人(同姓同名)識別して成果をオンラインデータベース化できるもので、ポ

トフォリオとしても使えます。また、SNS (Social Networking Service) のResearch Gateは、自分の研究にどの国の何人がアクセスしたかや、近い領域の研究者情報などを電子メールで定期的(かなり頻繁に)に知らせてくれます。どちらも無料で一度登録すると自分のサイトの閲覧だけでなく、興味のある研究者と電子メールでの情報交換が容易になります。看護や医療のエビデンスとなる研究の多くが英論文で発表されるため、非英語圏では不利な立場ですが、インターネットツールの発達が目覚ましく、様々な研究交流の広がりには驚くばかりです。本地方会でもホームページを開設しておりますので、情報発信をさらに検討したいと考えています。

ORCID :<http://orcid.org/>

Research Gate <https://www.researchgate.net/>

~~* 事務局より *~*~*

雨上がりの木々の緑が美しい季節となりました。会員の皆様方におかれましては益々清祥のこととお慶び申し上げます。

さて役員交代に伴い、事務局が上記へ変更となりました。不慣れではありますが、これまで通りの円滑な学会運営に努めてまいりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。



平成26年度研究助成の選考結果 及び研究助成の終了について

一般社団法人 日本看護研究学会
九州・沖縄地方会 研究助成選考委員会
委員長 田中美智子

一般社団法人日本看護研究学会九州・沖縄地方会では、学会員である木場富貴先生、田島桂子先生より、ご支援をいただき、木場・田島基金として平成23年度より研究助成を始めました。この研究助成は、九州・沖縄地区で、「優秀な研究者育成のために研究費の一部を助成し、看護学の向上と発展に寄与すること」を目的として行っておりました。

平成26年度は、ニュースレターにて研究助成を公募し、4名の応募がありました。その内1名が途中辞退されましたので、3名の論文を選考委員会で審査しました。研究目的と研究計画の一貫性やこの研究が助成期間中に実現可能かなどの面から検討を行った結果、誠に残念な結果ではありますが、3名ともに不採択という結論に至りました。この事態を受けて、研究助成選考委員会及び九州・沖縄地方会役員会では、研究助成（木場・田島基金）の現状と課題について、話し合いを持ちました。

また、研究助成選考委員会及び九州・沖縄地方会役員会では、これまでの研究助成の経緯と成果を踏まえて、研究助成（木場・田島基金）の現状について議論を進めて参りました。木場先生と田島先生の看護に携わる後進の育成に対する熱い思いで、実現していたこの助成制度ですが、研究助成の制度を運営する地方会の財政上の問題、また、日本看護研究学会が一般社団法人となったことによる収支決算報告に関する課題が出てきました。このような状況とともに、看護系大学の増加や各学会での研究助成も増えてきており、本地方会としての活動を考えていく時期に来ていることが検討されました。そこで、本助成の継続については、一般社団法人日本看護研究学会への研究助成に向けた発展的解消として終了することと致しました。

これまで助成いただいた両先生方にこの場を借りて、心から感謝の意を申し述べたいと思います。また、会員である私たち一人一人が先生方のお気持ちを心に受け止め、一般社団法人日本看護研究学会九州・沖縄地方会が、今後とも、研究者育成のため、また、看護学の向上及び発展に寄与するために活動を続け、発展していければと考えております。

最後になりましたが、平成27年度は、平成25年度に研究助成を受けました加悦美穂さんのご発表

（研究テーマ：「仰臥位から側臥位への体位変換援助における看護者の姿勢と手の圧力の関連性の検討」）を第20回一般社団法人日本看護研究学会九州・沖縄地方会学術集会にて行う予定にしております。ご参加のほど、よろしくお願い致します。

平成24年度 一般社団法人日本看護研究学会 九州・沖縄地方会研究助成 (木場・田島基金)の発表を終えて

熊本大学大学院保健学教育部博士後期課程
村上 美華

このたび「新人看護師の職業性ストレスに関する研究（共同研究者：前田ひとみ）」に対して研究助成を賜り、新人看護師の時期ごとの職業性ストレスの特徴を明らかにする縦断調査を遂行することが出来ました。本研究の基盤である職業性ストレス尺度を2010年に日本看護研究学会雑誌で発表した後、問い合わせを多く頂き新人教育に対する関心の高さを実感しました。同時に、教育プログラムの開発につながる研究を更に進めたいとの思いを強く抱き、助成を受けたことは研究の推進力となり励みとなりました。

研究成果は、第19回一般社団法人日本看護研究学会九州・沖縄地方会学術集会で報告いたしました。当日は、プリセプターとの関係性が職業性ストレスに与える影響等について基金創設者である田島先生よりご質問を頂き、また多様な背景を持つ新人看護師の状況について参加者と意見交換する貴重な機会を得ました。基金創設者の木場先生、田島先生、そして研究助成選考委員の先生方に心より感謝申し上げます。



第19回日本看護研究学会 九州・沖縄地方会学術集会を終えて

第19回日本看護研究学会九州・沖縄地方会
学術集会長 前田ひとみ

第19回日本看護研究学会九州・沖縄地方会学術集会は「看護実践力のScienceとArtを拓く」をメインテーマとし、平成26年11月8日（土）に市民会館崇城大学ホール（熊本市市民会館）で開催させていただきました。お陰様で九州県内の会員・非会員約190名のご参加を賜ることができました。

臨床における経験知を意識化して、実践知として言語化していくことは容易なことではありません。特別講演では、質的統合法（KJ法）を研究・開発された情報工房の山浦晴男先生に「質的統合法（KJ法）の考え方と方法－臨床の実践知と質的研究法－」というタイトルでご講演いただきました。看護の臨床現場では「さばく仕事」のやり方と「知恵を働かせる仕事」の両方のやり方があること、看護研究は「知恵を働かせる仕事」ですが、単なる問題解決にとどまらずにいかに研究として発展させるかについてW型問題解決モデルをもとにわかりやすくご説明いただきました。また、論理的にものを考える訓練として「思考の三角形」をご紹介いただき、学生の思考訓練について日頃悩んでいる者としてとても興味深く拝聴しました。

ランチオンセミナーでは日本歯科大学の松野智宣先生に「健康はお口から～口福なHappy Lifeを過ごすために」というタイトルでご講演を頂きました。高齢者の感染症予防において口腔ケアは重要ですが、超高齢社会の中でQOLを高めるためにはQOH（Quality of Health）を高める必要があり、その基本には口腔の質QOM（Quality of Mouth）の維持が欠かせないことがよく理解できました。

平成23年から設立された研究助成（木場・田島研究助成）発表として熊本大学大学院保健学教育部博士後期課程の村上美華氏が「新人看護師の職業性ストレスに関する研究」を発表されました。その後、一般演題として、口演10題、示説18題の発表があり、活発な意見交換が展開されました。地方会は、各地方での看護学研究者と臨床の看護職者の交流を推進すると共に、特に、若い看護職の皆様が看護研究の成果を発表する経験を通して、その成果をさらにブラッシュアップするいい機会だと考えます。残念ながら、今年度の助成対象研究はありませんでしたが、九州・沖縄地区から優秀な若い看護学研究者が育つことを祈念しております。

最後になりましたが、ご多忙な中、査読や座長をお引き受けいただきました先生方、ご参加いただきました皆様、本学術集会にご協力いただきました企画・実行委員の皆様、運営にあたってお手伝いいただきましたボランティアの皆様、学術集会にご賛同いただき広告やご寄附などをいただきました皆様方に、心から感謝とお礼を申し上げます。

本地方会が看護学の知の発展と高い臨床実践能力を有する看護師の育成に向けて貢献できることを祈念し、本学術集会を無事終了できたことに心より感謝申し上げます。

一般社団法人日本看護研究学会 九州・沖縄地方会会長を終えて

宮崎大学医学部看護学科
東 サト工

平成25年度から平成26年度まで一般社団法人日本看護研究学会九州・沖縄地方会会長として、また、研究助成選考委員会委員長として、ニュースレターの発行、ホームページの管理、役員会及び学術集会・総会の開催、看護研究の助成などに関わって参りました。本地方会の発足から役員あるいは学術集会長として務めた経験を活かして会員の皆様のお役にしたいと思ってお引き受けいたしました。想定外の苦難が待っていました。ここに生きて役目を終えることができましたのは、役員の皆様をはじめ、多くの皆様のご支援のお蔭であり、深く感謝申し上げます。一般社団法人日本看護研究学会平成26年定時社員総会にて、地方会施行細則が決議され、地方会会則の大幅な改正による役員選挙を実施する必要がありました。貧しい地方会予算での企画・実施は厳しく、年1回開催の会員総会にて改正会則と新役員の承認・決定を得るためには公正な選挙と万全の資料準備が必要でした。また、木場・田島基金による研究助成については、募集・選考から発表に至るまでフル稼働状態となり、開拓しながらの活動となりましたが、2名の授与者に研究成果発表を頂けたことにより、看護研究の向上と看護学の発展に微力ながら貢献できたのではないかと思います。

平成27年度から、九州大学の藤田君支先生が九州・沖縄地方会会長に就任されました。九州・沖縄地方会の歴史を受け継がれ、さらなる発展にご健闘いただけるものと心から願っております。

一般社団法人日本看護研究学会第20回九州・沖縄地方会学術集会のご案内 メインテーマ:実践知と研究知のHarmony & Empowerment

日本看護研究学会第20回九州・沖縄地方会
学術集会長 砂川 洋子

日本看護研究学会第20回九州・沖縄地方会学術集会のご案内を申し上げます。

今回、第20回の記念すべき学術集会を、青い海と空が限りなく広がる沖縄の地で開催させて頂くことになりました。メインテーマは、「実践知と研究知のHarmony & Empowerment」と致しました。

これまでの学術集会の成果を統合調和（Harmony）させ、看護実践力や看護研究力を将来に向かってさらに発展（Empower）できることを期待したいと考えます。

特別講演は、「看護の経験知と研究知をつなぐリフレクション」のテーマで、安酸史子先生（防衛医科大学校教授）にご講演頂く予定です。

会員の皆様をはじめ、多くの方々にご参加頂きますよう企画委員一同お待ち致しております。

■日時：平成27年11月21日（土）9：00～16：00

■場所：琉球大学医学部 臨床講義棟・保健学科棟（沖縄県西原町字上原207）

■プログラム

8：30～ 受付

9：00 開会

9：05～9：20 学術集会長挨拶

9：30～11：00 特別講演：安酸史子先生（防衛医科大学校看護学科・教授）
「看護の経験知と研究知をつなぐリフレクション」

11：10～11：40 総会

11：50～12：50 ランチョンセミナー：笹良剛史先生（友愛会南部病院麻酔科診療部長）
「緩和ケアにおけるエビデンスーがん患者・家族の痛みを癒すー」

13：00～13：20 研究助成発表

13：30～14：20 交流集会

大学間連携共同教育推進事業

「多価値尊重社会の実現に寄与する学生を養成する教育共同体」

九州・沖縄8大学&ステークホルダーによる“しなやかナース”育成の取組
～臨床と教育のHarmony～

13：30～15：50 一般演題（示説）

14：30～16：00 一般演題（口演）

16：00 閉会

■一般演題募集期間：平成27年6月15日（月）～8月17日（月）

■事前参加登録期間：平成27年7月20日（月）～9月30日（水）

■学会ホームページ：<http://www.okinawa-congre.co.jp/jsnr-kyu20>

■学術集会参加費

	事前参加申し込み	当日参加申し込み
会 員	3,500円	4,000円
非 会 員	4,000円	4,500円
学 生	大学院生 1,000円（抄録代含）、学部生無料（抄録代別）	

■学会事務局：琉球大学医学部保健学科成人・がん看護学

〒903-0215 沖縄県西原町字上原207 Tel. 098-895-3331(ex.2633)

■運営事務局：株式会社沖縄コングレ内

〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地3-1-1 日本生命那覇ビル

Tel. 098-869-4220/Fax. 098-869-4252

E-mail:jsnr-kyu20@okicongre.jp